

# 横井としおのまじめ話

VOL・3

横書きは見じろい、とこう  
「意見がありましたので、  
今回は縦書きで」

## 前号までのあらすじ

夕張市は、炭鉱産業が衰退し、人口が減りました。町おこしのため、観光産業に投資をし、無理をして、財政破綻したのです。

美和町は大丈夫かなと、収入・支出を見たなら、やりくりはかなり厳しそう。支出を減らし、収入を増やさないとやっていけなくなりそうです。

手は打っているかというところ、**行財政改革アクションプラン**で、成果目標を立てています。が、少し心もとないのでは。

これからは**地域で格差**ができる時代。首長や議員がしっかりしないと、取り残されてしまいます。



## 議員の役割

議員や首長がしっかりしないと、といいますが、では、役割はどうなっているのでしょうか。

議員が、行政の**首長(町長)**とは別に選ばれるのは、議員が行政のやり方を、監視、指導するためです。(二元代表制)

首長が見逃してしまいそうな、皆様のことを、きちんと政策に反映させるためです。皆様の声を行政に届けるのです。

そのための一つは、日々の生活の中で、行政が行っていない問題を、行政と皆様とのパイプ役となり、解決をしていくということです。

例えば、道路の補修や、公園の整備、子育ての相談など、日常のちよっとした問題にも、行政との仲介役としての役割

があるのです。

仲介役だけが議員の役割ではありません。もう一つ、とても大切な役割があります。

それは、町が提案する政策の問題点や、非効率さを指摘し、時には、自らの政策で、町と競い合うことです。

少し分りにくいので、**役場(地方自治体)を会社**にたとえて考えてみましょう。

## もし役場が会社だったら

役場を会社にたとえると、社長は町長ですね。社員は職員でしょう。そして、お客様は町民の皆様です。株主でもあります。業種はサービス業です。

では、議員は何になるのでしょう。重役とは少し違います。議員は社員ではないので、さしずめ、**社外取締役**というところでしょうか。

さて、この会社(役場)ですが、今までは、**親会社(国・県)**の下請けがほとんどで、三割程度しか独自の仕事をしていませんでした(二割自治)

そうしていれば、分配があり**地方交付税**、経営が成り立つようになっていたのです。

ところが、親会社も経営が苦しくなってきた、これからは、**効率的な経営**が必要だ、そのため、**子会社は自立**していくように**地方分権一括法**、ということになってきたのです。

## 親会社(国)の庇護が...

これまでは親会社の庇護のもと、言うことを聞いていれば、**無難に過ぎて**いったのですが、これからは違います。

仕事を、自分たち独自の創意工夫やアイデアをいれて、**効率よく**、**成果**が上がるよう

にしなくてはなりません。

そうなってくると、重要なのは、社長・町長の能力です。社長には、全ての権限があるのですから、責任も重大です。首長がしっかりしなくては、というのは、そこにあるのです。

## 社外取締役 議員について

さて、社外取締役 議員ですが、実は、お客様 住民から任命されているのです。ですから、一番の役割は、会社がお客様のために、きちんとサービスを行っているか、効率よくこなしているか、を監視することでした。

ですが、今までは、親会社(国)の仕事の下請けでしたので、チェックの必要もなく、お客様のクレームを会社に伝えることがほとんどでした。

仕事を追求することが少なかったのも、誰がやっても同じ、と言われたりしました。

## 誰がやっても、同じ？

これからはそうは行きません。うっかりしていると、倒産 財政破綻するからです。

しっかりと仕事の内容を調査し吟味して、また、事業の計画を問いただし、方向性が正しいかどうか、確認しなければなりません。(一般質問)

場合によっては、会社から出されたプランより、優れたものを提案することも必要になります。(議員提案条例)

もちろん、経理 財政のチェックは重要な仕事です。「決算書が読めない取締役はいらない」と言われるのは、会社ですと当たりまえですね。

## 自治体も経営の時代に

役場を会社にたとえての話、いかがだったでしょうか。

このように議員の役割もますます大きくなってきています。議員にも、経営者としての責任が問われるようになってきました。会社 役場をつぶすわけにはいきません。

## もし役場がなくなったら

普段はあまり意識されないかもしれませんが、行政が行っていることは本当に多岐にわたっています。道路も、ゴミも、水道、保育・学校教育、福祉や保険、住民票や選挙。公共施設などなど、私たちの生活に密着した、大切な仕事がたくさんあります。

それがある日、突然なくなったら、高い費用がかかるようになって、本当に困ります。夕張市のようにならないとは誰もいえません。美和町だって、随分危ないのです。

そんな日の来るのではないよう、また、もつと快適に、もつと暮らしやすい、町に、議員として役割をはたしていかなければなりません。

## 選ぶのは美和町の皆様

議員を選び、任命するのは、美和町の住民の皆様です。

お願いされたから、紹介されたから、どうせ一緒だから、ということではなく、これか

らの時代に、議員にどんな役割をして欲しいのか、誰がそれをやっていくのかを考えてください。

人に言われたからでなく、ぜひ自分自身の判断で、これからの美和町を育むのは自分だ、と言う気持ちで選んでください。

よろしくお願いします。

## 横井としおの、これまでの主な取組み

○ 議員定数の削減に努力してきました。

H11 定数 18 名 → H15 定数 16 名 → **H19・定数 12 名**

(ちなみに、H15 年の当選順位は 14 位でした。)

- 27 回 57 項目の一般質問で、財政の健全化や、事務の効率化、暮らしの安全や、環境対策に言及しました。小中学生の保護者へのメール配信は H17・3 月の質問が元です
- 議会広報特別委員会の副委員長として、親しみやすい議会広報を目指し、全国コンクールでも表彰されました。
- 議会選出の監査委員として、行政の支出に目を光らせ、監査が適切に行われるよう努めました。